

科目名・単位数	ビジネスプレゼンテーション 2単位	科目分類	経済・経営系	応用・実践科目
配当年次	1年次・秋学期・昼	担当教員	すずき たつや	
履修形態	選択		鈴木 達哉	
授業概要	限られた時間の中で最大の成果を出すことが要求されるビジネスの世界において、プレゼンテーション能力は、最重要なスキルの一つである。さらにグローバルなコミュニケーションツールとしての英語でプレゼンテーションできることは、専門的なスキルを発揮するうえでも必須の能力といえる。まず、ビジネスプレゼンテーションにおける約束事（方法論）を理解し、その上で、英語によるクラス発表及びディスカッションによる実践的なトレーニングを通じたプレゼンテーションの基本スキルの習得を目的とする。			
到達目標	プレゼンテーションの構成、視覚資料に関する基礎知識、実施環境に応じた留意事項を理解した上で、実施演習を通じた基本能力の開発を行い、英語による説明的あるいは説得的プレゼンテーションができるようにする。			
授業方法	テキストを用いてプレゼンテーションの基本的な事項を説明する。また、セルフイントロダクション及び3回のプレゼンテーションの改善点などについて討議する。さらに適宜、世界的に評価の高いプレゼンテーションを視聴し、それについて討議する。			
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義範囲のテキストを事前に読み、専門用語の意味等を調べておくこと。(30分) ・事前準備として、テーマ、構成を検討し、視覚資料を作成すること。(150分) ・講義で視聴したプレゼンテーションの書き起こしを読み、内容を確認すること。(60分) 			
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各講義及びプレゼンテーションでの討議の発言内容 45% ・プレゼンテーションの準備内容 55% (自己紹介 5%、第1回及び第2回プレゼンテーションは各 15%、ファイナルは 20%) 			
フィードバックの方法	プレゼンテーションチェックリストを用いて、内容、構成、資料、ジェスチャー等について相互チェックを行い、議論により改善点を明確にする。			
履修上の注意	英語に興味があり、自主的に英文法や語彙力を学習すること（英文法等や語彙の講義は予定していない）、また討議に積極的に参加することを望む。			
授 業 計 画				
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ■オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・セルフイントロダクション（英文履歴書）及びプレゼンテーションスケジュールの伝達 ■プレゼンテーションの概要① <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスとプレゼンテーションとの関係について ・情報を効果的に伝える必要性 			
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ■プレゼンテーションの概要② <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの目的別タイプ ・成功するプレゼンテーション・話す内容を組み立てる 			
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ■＜英語によるセルフイントロダクション＞ <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを用いて、評価できる点と改善点を明らかにする。 ・改善ポイントに関するディスカッションの実施 			
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ■プレゼンテーションの構成 <ul style="list-style-type: none"> ・目的の明確化 ・聞き手の心をつかむ構成 ・構成を論理的にする 			

第 5 回	<ul style="list-style-type: none"> ■話のしかたと資料① ・コミュニケーションと表現技術 ・バーバル表現
第 6 回	<ul style="list-style-type: none"> ■話のしかたと資料② ・音に関わるノンバーバル表現 ・音に関わらないノンバーバル表現
第 7 回	<ul style="list-style-type: none"> ■視覚資料の作成① ・ビジュアル化のポイント ・視覚資料の作り方
第 8 回	<ul style="list-style-type: none"> ■視覚資料の作成② ・ビジュアル化のための資料と機器 ・パソコンによる視覚資料
第 9 回	<ul style="list-style-type: none"> ■プレゼンテーションの実施に関する基本知識の確認① ・5W1Hのチェック ・リハーサルの実施
第 10 回	<ul style="list-style-type: none"> ■<プレゼンテーション第1回> (課題1) ・チェックリストを用いて、評価できる点と改善点を明らかにする。 ・改善ポイントに関するディスカッションの実施
第 11 回	<ul style="list-style-type: none"> ■プレゼンテーションの実施に関する基本知識の確認② ・質疑応答 ・プレゼンテーションのPDCA
第 12 回	<ul style="list-style-type: none"> ■プレゼンテーションの実践力をつける ・プレゼンテーション学習の流れ ・事例研究
第 13 回	<ul style="list-style-type: none"> ■<プレゼンテーション第2回> (課題2) の実施 ・チェックリストを用いて、評価できる点と改善点を明らかにする。 ・改善ポイントに関するディスカッションの実施
第 14 回	<ul style="list-style-type: none"> ■これまでのプレゼンテーションの内容の振り返りと改善点を確認する。 ■観察学習から自らのプレゼンテーションに取り入れる具体的なポイントを討議する。
第 15 回	<ul style="list-style-type: none"> ■<ファイナルプレゼンテーション> (課題3) の実施 ・チェックリストを用いて、評価できる点と改善点を明らかにする。 ・改善ポイントに関するディスカッションの実施
テ キ ス ト	ビジネスプレゼンテーション 改訂版 実教出版
参 考 図 書	英語でプレゼンテーション - Power Presentation 三修社